

■ Radixの会第一回総会開催報告

■ 2002年度活動方針・計画案

今回の方針と計画は、方向性についてのご承認ということで、ご報告する内容は先だって開催された役員会で新旧役員を交えて内容が確認、承認されたものですが、現時点では本年度の決算も終了していません。新年度の予算についても、今回の総会でご承認いただいた方向性は、今後新しい役員体制で計画の詳細を討議していくという手順で進めていく予定です。

[2002年度活動方針・計画案]

新会長：五月女 清以智

昨今の雪印問題など食にまつわるスキャンダルがあります。あるニュースキャスターが単なる一企業の問題ではなく食品全般の問題と考えるべきだとコメントをしていました。いくら情報公開を叫び、システムを作っても情報そのものを信頼してもらえなくなることもあります。関連する企業の姿勢が非常に問われており、氷山の一角とみなされても仕方がない状況です。

Radixの会の問題意識も、この社会情勢の中、昨今の食品全般に対する「信用不信」というものに、いかに応えていけるか、ということをしっかり柱にしていくべきであると考えます。総括ではこうした社会情勢であるからこそ、らでいっしゅぼーやが14年間にわたり培ってきた会員皆様の信頼をより堅固にしていくことを謳っています。

これは、らでいっしゅぼーやの活動が、今後さらに脚光を浴びるであろうことの裏返しでもあります。社会が今更のように、これまでの構造的な問題を反省し始めた現われでもあると考えられるからです。

以上により、我々Radixの会もら

でいっしゅぼーやと共にこれまでの活動の方針を変更する事なく継承していくことで、会員皆様の抱えている食品全般への不安を「大きな信頼獲得」に導くよう、活動を進めるべきと考えています。その基本は、現在私達が備えている、安全や環境保全にむけた「生産、製造の基準」であり、顔の見える関係づくりからこつこつと組み立てられてきた情報公開の姿勢です。

新年度は長年参加しているRadixの会会員の皆様には活動の成果が還元され、実感される配慮とより実際的な企画を構築していきたい。Radixの会の会員になられていない非会員

の皆様にご理解いただき参画していただく。らでいっしゅぼーやとの協力関係をより強力に確かなものにしていく。以上3点に力をおき、活動を進めていきたい。

2002年度の活動方針（案）では、テーマに夢の実現に向けた充実と掲げている。各会員が生産・製造し、消費者に提供していく商品が、環境保全型生産基準ののっとり、かつ生産物・製品として品質が向上していくための施策（技術向上、相互交流）を総合的に推進します。またこうした会の活動を拡大する施策（情報発信・会員拡大）を推進します。



新役員推薦の辞

らでいっしゅぼーや(株)商品部長
後藤 和明

この半年間、竹内事務局長と30ヶ所全国で生産者・メーカーと話し合いをしてきました。1つが農産を明確に6ブロックに分けたこと。今回の幹事を含めブロック毎に4,5名の地域のメンバーがいます。活動のための皆様からの会費そしてらでいっしゅぼーやからの会費を合わせて全体6千万といえ、2千万前後の農産予算を6つに分け、技術向上・

情報・交流を地域でより主体的にやろう、というのが活動の柱になってくるかと思えます。

また加工・畜産・水産のメンバーは当然、時代の先駆けを実践しており、後継者・地域に伝えることを積極的にやっている方にお願しました。

どの推薦候補の方にも、これから2年間務めてもらいたいと思っています。そしてこの2年が4年・10年と続けば、株式組織でこのような会を作っているのはユニークなことです。先々海外からの視察も来て公開できるような活動に高めていければと思います。そういうメンバー15名を決めさせていただきました。

また、特別会員からの役員では、藤巻が企画部というところで生産者・メーカーの情報の核になってきます。交流では基本的に各地域、これからは東西のセンターが盛り上がり、会員を増やしていきます。